

## 今戸焼 干支人形

へい あん いのしし  
平安亥



奈良時代から平安時代にかけて、朝廷で活躍した和氣清麻呂公（わけのきよまろこう）は

「我獨慙天地」

我独り（われひとり）天地（てんち）に慙づ（はづ）  
世の中がどうであつても自分だけは恥じる事がない  
ように謙虚に正しい道を歩もう という尊い志で  
平安京の建都に貢献しました。また、三百頭の猪  
（いのしし）が清麻呂公をお守りして、足の病が治った  
という伝説から、猪は足の神様として親しまれてき  
ました。

このたび新作として、世の平安のために尽くされた  
和氣清麻呂公を守護した猪にあやかり、天を仰ぐ  
干支人形、平安亥（へいあんいのしし）を作りました。  
皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます

今戸焼 白井

六代 白井 裕一郎